

# 第7次拡張事業 (昭和57年度～59年度)

## 二里町のほぼ全域に給水される

第5次拡張事業時(昭和46年)に算定した計画給水人口の伸びは、昭和48年のオイルショックを期に増加率が鈍化しはじめ、目標年次(平成3年)の計画給水人口をかなり下回ると想定されました。

これにより、二里町内の馬場、中田、川内、吉野地区及び腰岳の中腹に位置する古子地区への給水が可能になり、第6次拡張事業に引き続き「無水源地域簡易水道」という補助制度を活用し、昭和57年8月認可を受け、10月着工しました。これらの地域は標高が高いため、送水ポンプ場5ヶ所や配水池5ヶ所などの施設を整備し、昭和60年3月に完成、給水を開始しました。



腰岳中腹より二里町中里地区を望む



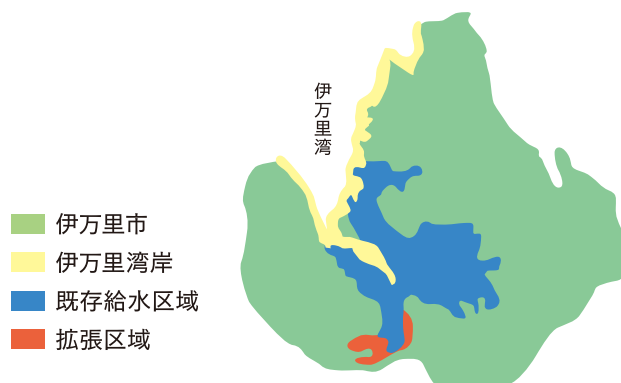
中田送水ポンプ場



古子地区、戸数も少なく点在している



古子低部配水池・送水ポンプ場



第7次拡張

### 第7次拡張事業

計画給水人口	40,000人
計画1日最大配水量	22,000m <sup>3</sup>
計画1日1人給水量	550ℓ
着工年月	昭和57年10月
竣工年月	昭和60年3月
総事業費	234,753千円